



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防をつくり、流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で堤防から水があふれてしまうのではと心配（地元区長）
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい（地元住民）

事業前

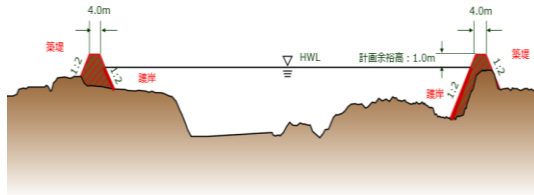
- ◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況
(令和元年台風19号)

事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

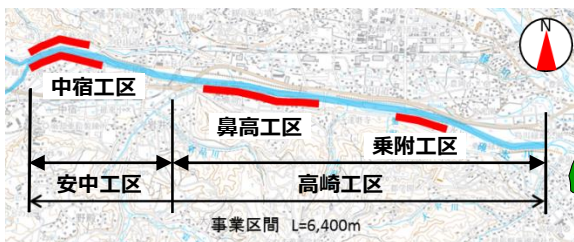


代表横断面(中宿地区)

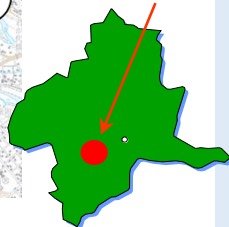
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：高崎市乗附町、鼻高町
- 事業内容：築堤 延長 6,400m (うち、高崎工区は1,800m)
- 事業期間：平成28年度～



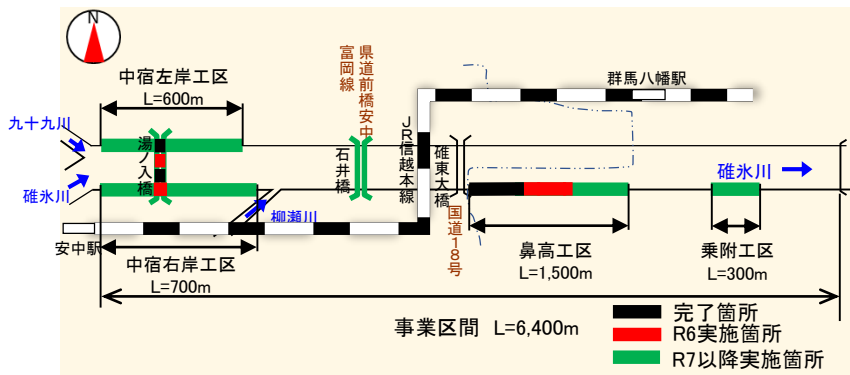
事業位置
高崎市



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は引続き堤防を整備する工事を実施します。



事業のすすみ具合

